

てづく かみしほい 手作り紙芝居

にがつとうそう 「二月闘争」

どうにゆうぶ 導入部

こんげつ であんとう にがつとうそう についてまな びます。し わかき ひ たたか をふか みて、でし であるわたし たちひとりひとりが、けつい もあら にしゅっぱつ していきたくおも います。

1枚目／こうふしにさんぜんとかがやくぐきょうたっせい (8枚目の絵の裏に貼る)

1952 (しょうわ 27) 年の2月、とうじ 24さい だった わか いけだせんせい は、かまたしぶ のしぶ かんじ として、201せたい の弘教を達成しました。当時、もつと かつりよく あるしぶ でもつきに100せたい というじだい にあつて、それまでのげんかい をおおきくうちやぶ ったこのたたか せんこく どうし ゆうき かくしん あた えは、はどう ひろ げました。これがこうふしにさんぜん と輝く、であんとう の「二月闘争」です。

2枚目／とだだいにだいかいちょうのせいがん (1枚目の絵の裏に貼る)

1951 (しょうわ 26) 年5月3日、第二代会長にしゅうにん したとだ せんせい は、そのせきじょう 75まんせたい のぐきょう というせいがん をはっぴょう しました。とうじ かいいん は3000にん をこえる ていどにす ぎず、戸田先生のせいがん をきいたひとびと にとって、75万というかず そうぞう はえんたい もつかないほどえんたい なものにかん じられたのでした。

3枚目／かりがねこうしんのうちきり (2枚目の絵の裏に貼る)

とだ だいにだいかいちょう しゅうにん げつ 9がつ たつたしょうわ 27年1月末時点では、ぐきょう のたたか おも すす 進んでいませんでした。戸田先生は、こうしたじょうたい をうちやぶ るため、「かりがね 行進は、こんげつ をもつて、いっ さいうちきりとする!」とせんげん します。このころ かくしぶ ぐきょう じょうたい よこいっせん なら すす 進む雁のむ 群れにたとえて、「かりがね 行進」と言われたのでした。

4枚目／蒲田支部幹事に任命 (3枚目の絵の裏に貼る)

「このままでは、とうてい、^{こうせん るふ} 広宣 流布 はできない。本当の ^{ほんとう} 弟子 はいないのか!」との ^{とだ せんせい} 戸田 先生の 思いに ^{こた} 応えて ^{たちあ} 立ち上 上がったのは ^{わか} 若き ^ひ 日の ^{いけだ せんせい} 池田 先生 でした。戸田先生は ^{さい} 24歳 の ^{せいねん} 池田 青年 を蒲田支部の支部幹事に任命します。それは、池田青年が ^{つね} 常に戸田先生の ^{こころ} 心に ^{こた} 応え、^{せんく} 先駆 の ^{じっせん} 実践 をすることをよく ^{ぞん} 存 じだったからでした。

5枚目／明確な目標を掲げる (4枚目の絵の裏に貼る)

蒲田支部の支部幹事となった ^{いけだ せんせい} 池田 先生 は、「この ^{がつ} 2月、^{みごと} 見事 な ^{しょうり} 勝利 の ^{けっか} 結果 をもって、^{とだ せんせい} 戸田 先生 の ^{たんじょう} 誕生 の ^{つき} 月 をお祝 いしようではありませんか!」と、支部の ^{みな} 皆 に ^{うった} 訴 えました。誰 よりも ^{だれ} 師 を ^し 思い、^{おも} 75万 ^{まん} 世帯 の ^{ぐきょう} 弘教 という ^{いけだ せんせい} 戸田 先生 の ^{こうそう} 構想 を ^{かなら} 必ず ^{じつげん} 実現 させてみせるといふ ^{つよ} 強い ^{けつぎ} 決意 を ^ひ 秘 めていた ^{いけだ せんせい} 池田 先生 は、支部 ²⁰⁰ 200 世帯、^{くみ} 組 2 世帯 という ^{くみ} 明確 な ^{ぐきょう} 弘教 の ^{めく} 目標 を掲げます。

当時 は、^{とうじ} 支部 ・ ^{ちく} 地区 ・ ^{ほん} 班 ・ ^{くみ} 組 という ^{たいせい} 体制 が ^{せいび} 整備 されたばかりでした。池田先生は、これまでになかった「^{くみ} 組」^{たんい} 単位 での ^{しやくぶくざだんかい} 折伏 座談会 を ^{おこな} 行う など、^{しょうにんずう} 少人数 の ^{つど} 集い を ^{たいせつ} 大切に し、^{さいぜんせん} 最前線 の「^{くみ} 組」に ^{しやうてん} 焦点 を ^あ 当てたのでした。

6枚目／一人ひとりに光を当てる (5枚目の絵の裏に貼る)

^{いけだ せんせい} 池田 先生 は ^{くみざだんかい} 組 座談会 を ^{てつてい} 徹底 して ^{まわ} 回り ^ぬ 抜き、^{ひとり} 一人 ひとりを ^{げきれい} 激励 していきました。特に ^{とく} 入会 して ^{にゅうかい} まだ ^ひ 日の ^{あさ} 浅い ^{たい} メンバー に対して は、「^{あたらしい} “^{ひと} 新 しい 人” だからこそ “^{ちから} “^{ちから} 新 しい 力” を ^も 持っている」と ^{はげ} 励まし、^{ひとり} 一人 ひとりの ^{こうふ} 広布 に ^{たたか} 戦 う ^{こころ} 心を ^も 燃え ^あ 上 がらせていったのです。このような ^{いけだ せんせい} 池田 先生 の ^{てつ} 徹 して「^{ひとり} 一人」を ^{たいせつ} 大切に した ^{はげ} 励まし の ^{こうどう} 行動 で ^{しぶ} 支部内 の ^{くうき} 空気 は ^{いっぺん} 一変 し、^{ぐきょう} 弘教 の ^{かんき} 歓喜 が ^{ひろ} 広が っていきました。

7枚目／201世帯の弘教を達成 (6枚目の絵の裏に貼る)

こうして ² 2月 25 日、^{かまた しぶ} 蒲田 支部 はこれまでの弘教に ^{ばい} 倍 する ²⁰¹ 201 世帯 を達成 し、^{おお} 大きく ^{かべ} 壁 を ^{やぶ} 破 りました。それは、^し 師 を ^{おも} 思う ^{いけだ せんせい} 池田 先生 の ^{あつ} 熱き ^{こころ} 心 と、^{そつせんすいはん} 率先 垂範 の ^{こうどう} 行動 に、^{みな} 皆 が ^{ふる} 奮い ^た 立 っ て ^{うち} 打ち 立 った “^{こうふ} 広布 の ^{きんじとう} 金字塔 ” でした。そして ^{おお} 多くの 支部 が「^{つづ} 蒲田 に 続 け」と ^{おお} 奮い 立 ち、弘教 の ^{いきお} 勢 い が ^ま 増 っ てい ったのです。

8枚目／^{みずか}自らが^{こうふ}広布の^{げんどうりよく}原動力に (7枚目の絵の裏に貼る)

「^{にがつとうそう}二月闘争」によって^{いきお}勢いを増した^{がっかい}学会は、この^{とし}年には^{まんせたい}2万世帯を^こ超え、^{ねんご}5年後の1957(昭和32)年12月、ついに^{とだせんせい}戸田先生の^{がんぎよう}願業である^{まんせたい}75万世帯の^{ぐきよう}弘教が^{たっせい}達成されたのです。^{でんとう}伝統の「二月闘争」を^{つらぬ}貫くもの、それは、“^{だん}断じて^し師の^{こうせん}広宣^{ろふ}流布の^{がんぎよう}願業の^{とっぽこう}突破口を^{ひら}開く”という「^{していふに}師弟不二」の^{せいしん}精神です。この2月、^{わたし}私たちも自らが広布の原動力にとの^{けつい}決意で、^{ししやう}師匠に^{こた}応えていく^{たたか}戦いを^{てんかい}展開していきましょ

う。

^{けつい}決意など